

2017年10月4日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

フィスコ仮想通貨取引所の持株会社であるフィスコデジタルアセットグループを設立 ～環境変化の激しい仮想通貨ビジネスの意思決定を迅速化～

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下「フィスコ」)のグループ企業である株式会社フィスコ仮想通貨取引所(本社:東京都港区、代表取締役:越智 直樹、以下「FCCE」)は、本日、完全親会社(持株会社)として株式会社フィスコデジタルアセットグループ(本社:東京都港区、代表取締役:田代 昌之、以下「FDAG」)を設立する登記申請を行いましたので、お知らせいたします(設立方法は、FCCE による単独株式移転により、FCCE の株主はその持株比率を維持したまま FDAG の株主となり、この結果 FCCE は FDAG の100%子会社となります。)

仮想通貨ビジネスは日々めまぐるしく環境が変化し続けております。変化する事業環境に対応するためには、仮想通貨交換業や仮想通貨への投資業といった関連事業ごとに生じるリスクの分散、および各事業における意思決定の迅速化を行う必要があります。フィスコグループでは、これを実現するには、持株会社体制へ移行することが効果的であると考え、FDAG 設立に至りました。

FDAG を中心とした持株会社体制に移行することにより、これまで FCCE や FCCE の子会社で進めていた、ビットコインのデリバティブシステムトレードの法人向け提供、日本初のビットコイン建て社債発行のほか、仮想通貨やトークンを運用対象とした自己勘定での売買取引、ビットコイン(BTC)やNEM(XEM)をはじめとする仮想通貨や既報の「COMSA」における新規トークン販売(ICO=Initial Coin Offerings)案件で発行されるトークンに直接投資を行うファンドなどの仮想通貨関連ビジネスについては、FDAG の別の子会社を通じて展開していく所存です。今後も FDAG では、FCCE など傘下の子会社を通じて、フィスコグループが有する金融市場における高い専門性を活かした独自の仮想通貨戦略を推進し、仮想通貨に関わる様々な商品やサービスの開発と展開を加速させます。一方で、今後 FDAG およびその子会社との間で想定される利益相反については、既報のように会社間に適切なファイアーウォールを設けるとともに、運用担当者間の交流を遮断することによって管理態勢を整備し、不公正な取引の発生を未然に防止してまいります。

フィスコグループでは FDAG の設立を機に、日々めまぐるしく環境が変化し続ける仮想通貨ビジネスにおいて、先駆者として業界の健全な発展に寄与してまいります。今後の FDAG の仮想通貨ビジネス展開にご期待ください。



News Release

【株式会社フィスコ】

会社名： 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号
設立日： 1995 年 5 月 15 日
資本金： 1,266 百万円(2017 年 6 月 30 日現在)
代表者： 代表取締役社長 狩野 仁志
事業内容： 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

【株式会社フィスコデジタルアセットグループ】

会社名： 株式会社フィスコデジタルアセットグループ
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号
設立日： 2017 年 10 月 4 日(予定)
資本金： 387 百万円(2017 年 10 月 4 日現在)
代表者： 代表取締役 田代 昌之
事業内容： 仮想通貨関連ビジネスを営む会社の株式又は持分を所有することによる当該会社の経営管理、グループ戦略の立案及びこれに附帯する業務

【株式会社フィスコ仮想通貨取引所】

会社名： 株式会社フィスコ仮想通貨取引所 <http://corp.fcce.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号
設立日： 2016 年 4 月 12 日
資本金： 387 百万円(2017 年 8 月 31 日現在)
代表者： 代表取締役 越智 直樹
事業内容： 仮想通貨の取引所運営、仲介、ファイナンス、仮想通貨を利用した金融派生商品の開発、仮想通貨の取引所運営に関するシステムの開発・販売およびコンサルティング、その他の仮想通貨の一般サービス

以上